



ギャラクシー賞入賞作品を聴いて、語り合う会 Vol.13

ギャラクシー賞ラジオ選奨委員会では、聴く機会の少ないギャラクシー賞の入賞作品を聴いて、その制作者にお話を伺い、ともに語り合う会を毎年開いています。

今回は、第48回ギャラクシー賞ラジオ部門で入賞した下記の2作品を試聴いただくとともに、番組や制作に関して、自由に意見を交換し、語り合いたいと考えています。参加をご希望の方はこの用紙に必要事項をご記入の上、**ファクスにてご返送下さい。**

ラジオ関係者だけでなく、多方面からのご参加をお待ちしております。

試聴番組とゲスト

◆「ラストイニング 全国高校野球県予選決勝 聖母学苑 対 彩珠学院」 優秀賞受賞作

漫画誌に連載中で、根強いファンの多いリアル野球漫画「ラストイニング」をラジオ実況中継として再現。舞台は甲子園出場を賭けた県大会の決勝戦、漫画の登場人物の声はなく、スポーツアナウンサーの実況、スタンドの応援、ウグイス嬢による場内放送、バットが発する快音、ピッチャーの速球がキャッチャーミットに吸い込まれる音...漫画という2次元の作品をラジオ実況中継で3次元に表現し、ラジオドラマとは違う世界を作り上げた。

ゲスト: ニッポン放送/ アナウンサー 煙山光紀さん プロデューサー 伊藤了子さん

◆「インターが聴こえない～白鳥事件60年目の真実」 大賞受賞作

戦後の混乱が続き、貧しさのどん底だった1952年冬、札幌で公安警察官が射殺された。いわゆる白鳥事件である。この事件で犯行に関わったとされた学生たちは、獄中につながれた者、発狂した者、裏切りを強いられた者、地下に潜り中国へ亡命した者など様々な人生の軌跡を辿った。60年目を迎えた事件で関係者の口から明らかにされる事実と謎を追いながら、国際労働歌「インターナショナル」をともに歌った学生たちの青春のいつときの光と長い影を描く。そこには、新たな真実の影も見え隠れする。

ゲスト: 北海道放送/ 構成 後藤篤志さん(HBCメディアクリエイター)

◇日時 7月3日(日) 午後1時～午後5時 開場: 午後12時30分

※終了後、各自負担で懇親会を予定しております。詳細については当日お知らせいたします。

◇会場 有楽町 ニッポン放送イマジンスタジオ(ニッポン放送本社地下2階)

～交通アクセス～

- 東京メトロ日比谷線「日比谷駅」A8出口 徒歩1分
- 東京メトロ千代田線「日比谷駅」A8出口 徒歩1分
- 東京メトロ有楽町線「有楽町駅」B1出口 徒歩1分
- 都営地下鉄三田線「日比谷駅」B1出口 徒歩1分
- JR山手線・京浜東北線「有楽町駅」中央西口・日比谷口 徒歩3分

◇参加費 お一人 1,500円(学生1,000円)

*受付にて、当日精算となります。

◇協力 ニッポン放送

◇主催・問い合わせ NPO法人 放送批評懇談会 ラジオ選奨委員会 TEL.03-5379-5521

▼申し込み記入欄(※切:6月28日 但し、定員になり次第締め切らせていただきます)

FAX 03-5379-5510 (放送批評懇談会事務局)



お名前	所属
連絡先	懇親会 出席・欠席(どちらかに○を)

*複数名ご参加の方は、お手数ですが、この用紙をコピーの上、お申し込みください。

切り取らずにこのまま FAX してください!